



学校だより

最終号 ジャカルタ日本人学校
令和3年(2021年)3月3日
発行：校長 山口 満
TEL：021-745-4130

夢をもち、その実現に向けて地道に努力を・・・ 1年間ありがとうございました！

校長 山口 満



日本では桜のつぼみが日増しにふくらみ、春の訪れを感じる季節となってきました。令和2年度の3学期もあっという間に、最後の月を迎えました。昨年度は創立50周年を盛大に祝い、本年度は新しい歴史の一步を踏み出す年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、仲間とともに過ごせず心残りな日々を送られたことと思います。しかし、皆さんは限られた状況の中でやるべき事を本当によく頑張りました。もうすぐ、卒業式・修了式を迎えますが、「JJSで学ぶ事ができて良かった。」と思ってもらえたらこんなに嬉しいことはありません。世界中の人々が辛い思いをしている中ですが、今の頑張りは「夢をもち、その実現に向けて地道に努力している」ことにつながっていることを忘れないください。

さて、皆さんが成人して社会で活躍する頃には、少子高齢化が進む中で、働く若者の減少、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新により、AI（人工知能）の導入が進み、人の働く環境が大きく急速に変化し、予測困難な時代となってきます。しかし、予測困難といわれる急激な社会の変化は自分が変わる「きっかけ」をもってきます。それを課題として受け入れ、解決していくことを通して成長があります。パーソナルコンピュータの父といわれるアラン・ケイは「未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ」と言っています。予測困難な時代の変化に「変化に対応する力」をつけていくことはもちろん、さらに「変化を創る力」を身につけ、「自ら未来を創っている」という意識をもつことで、自分をとりまく世界観が変わるといふ喜びを知るのは人生を充実させます。これからの時代に皆さんが夢を実現していくために、常に挑戦する気持ちを持ち続け、未来を創っていきましょう。

4月からは新しい環境の中で、学校生活をスタートすることになります。JJSを巣立つ子どもたちやそれぞれの場所で進級する子どもたちが、自らの力で新しい世界を広げていくことができるよう、この後もしっかりと見守り続けていきたいと思ひます。

私は病氣療養のために日本からの校務となってしまい、たいへん心苦しいのですが、保護者の皆様にはこの1年間、本当にありがとうございました。今後もJJSが希望に満ちあふれ、よりよく進化を続ける学校でありますようご協力を宜しくお願いいたします。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りしております。



着任式・始業式(4月22日)について

※6:50から新学級編成表を各アトリウムに掲示します。
新学級を確認して、新しい教室に入ってください。

7:45 ~ 8:05 着任式(オンライン)
8:10 ~ 8:30 始業式(オンライン)
8:45 ~ 学級活動
11:05 バス発車

○スクールバスが運行できるかどうかは現在調整中です。運行できない場合は自家用車等での送迎をお願いいたします。

○昼食(弁当)は必要ありません。

入学式(4月23日)について

※7:15から小学部、【9:45】から中学部となります。

7:15【9:45】 ~ 新入生受付
7:30【10:00】~7:55【10:25】 学級活動
8:00【10:30】~8:30【11:00】 入学式
8:35【11:05】~9:15【11:45】 写真撮影、学級活動

○新小1生および新中1生のみ登校です。(在校生は休みです。)

○スクールバスは運行されません。

登校が可能な場合の計画となっています。変更の可能性あることをご了承ください。4月初旬にあらためてお知らせいたします。ジャカルタ在住であれば自宅からオンラインの参加も可能です。

令和2年度末 任期を終える教職員からのメッセージ



**23名の教職員が異動いたします。この場をお借りしてメッセージを紹介いたします。
たいへんお世話になりました！**

<山本 千明> JJS の児童生徒、保護者の皆様、そして学校を支えてくださっている多くの方々とともに過ごさせていただき、この2年間の全ての経験がここでしか得ることのできないかけがえのない宝物です。関わった多くの方々からいつまでも大切に想われている、そんな学校に勤められたことを心から感謝しています。皆様、本当にありがとうございました。どうぞお元気で。

<大平 一義> これほどいろいろな方から愛される学校はみたことがありませんでした。こんな素敵な場所で3年間勤めることができたこと、純朴で素直な子ども達や協力的な保護者の皆様、学校を支えてくださったすべての人との出会いを本当に幸せに感じています。JJSの子ども達はこれからの日本とインドネシアの宝です。全ての人が幸せになれる社会をともにつくっていきましょう！

<浜田 希> スカルノハッタ空港 T2 に降り立った日がまるで昨日のようです。赴任してすぐ、クラスの子から「ここはキラキラの国だから」と教わりました。そして、大抵のことは「ティダアパパ」と笑顔で許してくれた人たち。心にゆとりをもつ大切さを教えてくれたインドネシア、テリマカシ！そして、幸せな気持ちをくれた JJS の子どもたち、保護者の皆様、すべての方々に、ありがとうございました！！

<岸本 久子> 50周年を盛大にお祝いした1年目。コロナで大変だった2年目。この2年間でJJSがどれほどたくさんの人々に愛され、大切にされているのかを知りました。そして、学校に子ども達がいるということが、どれほど自分の力になっていたのかも改めて知ることができました。JJSで、そしてインドネシアで出会った全ての人々に感謝しています。またどこかで会えることを楽しみにしています！

<穴井 亮> いつも元気で明るくて、個性溢れる皆さんと学校で出会えることが本当に幸せで、毎日がとても楽しかったです。保護者の皆様をはじめ、学校を支えてくださった方々。本当にありがとうございました。JJSで過ごした3年間は、一生忘れることのできない大切な思い出です。どんな時も「自分らしさ」を大切に、皆さんの目標に向けて頑張ってください！！本当に、ありがとうございました。

<万福 北> 3年間で私は「インドネシア」と「JJS」が大好きになりました。インドネシアで出会った、すべての人に心から感謝しています。JJSでの経験は私にとって「財産」です。そして、私の教員生活をJJSでスタートできたことは大きな「誇り」です。また世界のどこかで皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。たくさんのお会いをありがとうございました。Terima kasih!そして... Sampai jumpa!

<邨田 美生> かわいい子どもたち、あたたかい保護者の皆様、教職員の方々、私のまわりは素敵な人たちであふれていました。ジャカルタで過ごした日々の思い出は、私の心の宝箱の中に大切にしまい、この先の新しい出会いへと繋げます。みなさんも、これから出会う人やものを大切にして未来へと歩んでください。そして、お身体に気をつけてお過ごしください。これまで本当にありがとうございました。

<山本 雄大>このJJSでの3年間は、本当に早く過ぎ去っていきました。教室で勉強したり、校庭で走り回ったり、休み時間におしゃべりしたりと、どれも素敵な思い出として胸に刻まれています。「最後にみんなともう一度、教室で勉強して休み時間に遊びたかった。」これだけが心残りです。これからも頑張ってください。日本からみなさんの活躍を見守っています。3年間ありがとうございました。

<宗倉 汐理>様々な出会いがありました。子どもたち、保護者の皆様、学校職員、グラウンドに実る果実、チュチャック。赴任当初こんなに幸せな気持ちいっぱいじゃカルタを離れるとは思いませんでした。寂しさもありますが、この幸せな出会いを頂けたジャカルタという地、時間をともに過ごした全ての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。JJSのより一層の活躍を楽しみにしています！

<布施 泰志>毎日授業した教室、何気ない会話をしながら歩いた廊下、子どもたちと汗を流したグラウンド、気持ちを伝えるためにたくさん発表の練習をした中学部体育館。一人でJJSを歩くと、子どもたちと頑張った笑ったあの日々が鮮明に思い出されます。この3年間で経験した全ての時間が私を教師としてさらに人間として大きく成長させてくれたと思います。JJSの皆様本当にありがとうございました。

<山田 信一>あっという間の日々でした。幸せな時間を過ごすことができました。ジャカルタ日本人学校で共に過ごした子どもたち、保護者の皆様、学校職員、出会えた全ての皆様に感謝の思いで一杯です。この出会いを大切に、これからも全力投球・全力前進で、精進して参ります。3年間、ありがとうございました！またいつか皆さんにお会いできる日が来ることを楽しみにしています！Terima kasih banyak！

<崎山 琴乃>JJSでは「空が澄んで遠くの山が見える」「笑顔を見る」など、沢山の小さな幸せを見つけることができ、3年間幸せに包まれて過ごすことができました。そんな小さな幸せが世界中にちらばっていると思うと、新しく挑戦する場所でも頑張れます。急成長してくジャカルタで皆さんと共に成長できたことは一生の財産です。本当にありがとうございました。またどこかで会えるのを願っています。

<星野 美紗子>インドネシアでの2年間があっという間に終わろうとしています。1年目、期待と不安が入り混じる中、子どもたちや保護者の皆様が温かい笑顔で迎え入れてくれたこと今でも忘れられません。子どもたち、保護者の皆様、同僚に支えられて2年間の任期を全うすることができました。本当にありがとうございました。

<二子石 将顕>「置かれた場所で咲きなさい」これは、卒業を目前にした生徒たちに伝えている渡辺和子さんの言葉です。今年度、私自身改めてこの言葉の意味をじっくり考えることができました。ジャカルタ日本人学校をあと少しで離れる今、まだまだやりたかったことはありますが、この一年JJSで過ごすことができたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。3年間ありがとうございました。

<玉田 翔士>2年間、私の数学科の授業を一生懸命受けてくれた中学部1、2、3年生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんの思いやりに感心したり、豊かな発想に刺激を受けたりと、多くのことを教えてもらいました。そして、皆さんの協力なしには実現できなかったことがたくさんありました。皆さんのいいところをたくさん伸ばしてください。これからの活躍、応援しています。

<喜納 政浩> 2年間、有難うございました。中学2年生のみなさんには、大変お世話になりました。短い期間でしたが、多くのことを体験させて頂く機会となりました。素直で明るい生徒のみなさん、素敵な保護者の方々に沢山支えてもらいました。有難うございました。カリヤワンのみなさんのいつも明るい笑顔とあいさつ嬉しかったです。インドネシアの方々の素朴で温かい雰囲気や優しさに感謝します。

<成瀬 あずみ> “Connecting the Dots—人生とは点と点を紡いでいくことである”という言葉が、ある有名なスピーチにあります。JJS で過ごしたかけがえのない日々は、人生で大切にしたい Dots の1つとなりました。たくさんのことを教えてくれた児童・生徒の皆さん、温かくサポートして下さった保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからの皆様のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

<大澤 京子> 2年間、多くの先生方や保護者の皆様に助けをいただいて、何とか仕事をする事ができました。心から感謝しております。1年目は創立50周年という特別な年、2年目はコロナ感染の広がりによるオンライン授業と、教員人生最後の2年間は特に忘れられないものとなりました。JJS での思い出は人生の宝物です！ 皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

<橋本 記江> 「一期一会」この言葉の意味を本気で考え、その重みを知った JJS での3年間。出会えた全ての人との繋がりが、私の大切な宝になりました。私は JJS を去りますが、この縁がいつまでもどこまでも繋がっていくことを願っています。「2020年度は大変だったね！でも、良い思い出だね！」と、いつかどこかで笑いながら語り合える日が来ることを楽しみにしています。それぞれの場所で頑張ろうね！

<日岐 敏史> 児童生徒のみなさん、保護者の皆様、JJS 先生方、職員・学校関係者の皆様、2年間という短い間でしたが本当にありがとうございました。JJS での経験、ジャカルタでの生活は、私にとってかけがえのないものになりました。この経験を今後活かしていきたいと考えております。皆様のご健勝とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

<福山 由希子> 児童生徒のみなさんの明るさと笑顔に支えられて、2年間楽しく過ごすことができました。今年度はなかなかみなさんに会うことができませんでしたが、児童生徒のみなさんも、保護者のみなさまも、校内で会うと必ず笑顔で挨拶をしてくださりました。とてもすてきな学校で2年間過ごすことができたことを幸せに思います。本当にありがとうございました。

<Daniel (ダン)> It has been a very enjoyable and rewarding four years teaching at JJS and time certainly flies when you are having fun and working hard. I wish all students and teachers the very best for the next year and beyond as the school continues to do great things.

<田口 哲生> インドネシアに3回、足掛け18年2ヶ月駐在しました。JJS には2015年4月から約6年勤務しました。先生が落ち着いて教えることができる、子供が楽しく勉強出来る、保護者が安心して子供を預けられる教育環境づくりを目指して来ました。お役に立てたことと思います。多くの方と知り合いになれたことが良かったです。有難うございました。